

(1) 教育活動の目標と方策	(2) 重点目標と方策
<p>1 学習指導</p> <p>(1) 質の高い授業を創造する。</p> <p>① 知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を実践する。</p> <p>② 双方向の授業を行い、生徒が思考・判断・表現する場面を設定することにより、生徒の主体的に学習する態度を醸成する。</p> <p>③ 相互授業参観や指名制による授業研究、外部の研究会への参加などによって、授業力向上に努める。また、その成果を各教科で共有する。</p> <p>(2) 「教科マネジメント」を確立し、組織的に生徒の学力向上に取り組む。</p> <p>① 3年間を見通した指導計画を作成し、それに基づく教科指導を行う。</p> <p>② 授業の取組や定期考査・外部模試等の分析、生徒による授業評価を活用し、授業改善に取り組む。</p> <p>③ 学力スタンダードに具体的な学習目標を明示し、校内で組織的・効果的な指導を行う。</p> <p>④ 記述力・論述力を測る定期考査を実施するとともに、定期考査問題の共通化を推進する。</p>	<p>(1) 授業改善に組織的に取り組み、学力の向上を図る。</p> <p>① 生徒による授業評価を年2回実施し、分析結果をフィードバックする。</p> <p>② 学力スタンダードの目標に基づき指導と評価を行い、指導内容・方法の改善を図る。</p> <p>③ 授業に関する校内研修や教科会を開催し、授業改善を図る。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 生徒による授業評価の各項目で、肯定割合 80% を達成する。 〔学習内容 84.1%、能力の伸長 82.0%、関心・意欲 76.8%、主体的な取組 76.9%〕</p> <p>イ 学校評価アンケート（満足できる授業）80%〔69.5%〕を目指す。</p> <p>ウ 全科目においてセンター試験全国平均+6 p〔+8.5 p〕の平均点を達成する。</p>
<p>2 進路指導</p> <p>(1) 生徒の第一志望の実現を図る進学指導を行う。</p> <p>① 生徒の成績推移等の情報を共有し、担任・教科担当・部活動顧問等があらゆる場面で生徒を励ましながら、第一志望を貫くように学校全体で支援する。</p> <p>② 「進路ニュース」を月1回程度発行し、情報提供に努める。</p> <p>③ 進路指導部と担任・教科担当の連携を深め、組織的な進路指導の充実を図る。</p> <p>④ 生徒面談や三者面談等を通じて、一人一人の適性・能力に応じた指導を行う。</p> <p>⑤ 「信州北園プロジェクト」を通して、実践的なキャリア教育を推進する。</p> <p>⑥ 保護者会等において、進路に係わる情報を積極的に提供する。</p>	<p>(1) 国公立・難関私立大学受験の取組を強化する。</p> <p>① 外部模試等終了ごとに模試分析会を実施、適宜個別ケース会議を設定し、学校全体で情報共有を図る。</p> <p>② 模試等の結果について教科会で検討し、教科指導・個別指導へ反映させる。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 学校評価アンケート（第一志望実現を支援する進路指導）80%〔生徒 76.6%〕を達成する。</p> <p>イ 国公立大学現役合格者 45名〔44名〕を目指す。</p> <p>ウ 大学入試センター試験出願率 95%〔97.2%〕、5教科7科目受験 45%〔44.3%〕を達成する。</p> <p>エ 長期休業期間中に 100 講座以上〔101 講座〕の補習・講習を実施する。</p> <p>オ 学年+1 時間の自主学習時間を確保する指導を行い、50%〔49.4%〕の達成を目指す。</p>
<p>3 生活指導</p> <p>(1) 全教職員が一致して生徒と向き合う生活指導に取り組む。</p> <p>① 年間 3 回以上の生徒面談を実施し、生徒理解を深める。</p> <p>② 基本的生活習慣を確立させるとともに、組織的に遅刻指導に取り組む。</p> <p>③ チャイム始業を徹底し、けじめある授業規律を徹底する。</p> <p>④ いじめのアンケートを年3回（7月、10月、1月）実施し、早期発見に努める。</p> <p>⑤ 防災教育推進委員会と連携し、宿泊防災訓練や年3回の避難訓練を計画・実施する。</p>	<p>(1) 規律ある学校生活の中で、自立の精神を養う。</p> <p>① 全教職員が一致して生活指導にあたり、生活規律を確立させる。</p> <p>② 自律的な高いモラルをもって社会の中で行動ができるよう、すべての教育活動を通じて育成する。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 遅刻指導を徹底し、遅刻者数を減らす。（各クラス1日平均1人以内〔1.30人〕）</p> <p>イ 学校評価アンケート（生徒と向き合う生活指導、いじめ防止、防災教育の取組）80%〔生徒 79.5%、73.8%、70.5%〕を目指す。</p>

(3) 自己評価 〔昨年度数値〕、※：わからない	(4) 次年度以降の課題と対応策
<p>1 学習指導 【B】</p> <p>相互授業参観や指名制による授業研究、外部の研究会への参加などの結果、教員全体の授業改善に対する意識が高まった。また、「思考力・判断力・表現力を育成する授業」をテーマにした授業参観を行った後、校内研修（グループディスカッション）を実施した。</p> <p>生徒による授業評価をすべての生徒を対象に5教科で実施した。授業評価では一定の肯定的評価が得られた。知識・技能だけでなく、思考力及び記述力・論述力を測る定期考査の作成に各教科で取り組むとともに、定期考査問題の共通化を推進した。5教科の定期考査はほぼ共通問題で実施した。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 生徒による授業評価の肯定的評価の割合 「学習内容のわかりやすさ、準備・工夫」85.8% 「思考・判断・表現力の伸長」84.4% 「興味・関心、意欲の喚起」79.0% 「課題や目標をもち、主体的に取り組んだか」80.2%</p> <p>イ 学校評価の肯定的評価の割合 「生徒の主体的な授業参加」 生徒 80.6%、保護者 76.2%〔※6.8%〕、外部 76.9% 「満足できる授業が多い」 生徒 68.1%、保護者 64.4%〔※18.9%〕</p> <p>ウ センター試験全国平均比較+9.6 p</p>	<p>〔課題〕</p> <p>(1) 授業担当者によって、授業内容・工夫、思考・判断・表現力を育成する授業などへの取組に依然ばらつきがある。また、学校評価「満足できる授業が多い」の肯定割合が 68.1%に留まっている点から、今後も継続して授業改善への取組が必要である。</p> <p>(2) 「学習の手引き」に関する評価が、生徒・保護者・教員の三者とも低い。</p> <p>〔対応策〕</p> <p>(1) 各教科による授業改善への取組と、教科の枠を超えた授業に関する校内研修を継続して実施する。</p> <p>(2) 「学習の手引き」を見直すとともに、年間指導計画を改善し、定期考査の完全共通化を目指す。</p> <p>(3) 次期学習指導要領に向けて、グランドデザインを作成するとともに、教育目標の具現化・構造化・焦点化を図り、ルーブリックを作成する。</p>
<p>2 進路指導 【B】</p> <p>模試分析及び個別ケース会議、教科会など、校内全体での情報共有、組織的な進路指導体制による指導を行った。面談指導は、三者とも高く評価している。</p> <p>第一志望における国公立大学の割合は、1年 57%、2年 55%〔+9p〕、3年 41%であった。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 学校評価の肯定的評価の割合 「第一志望実現を支援する進路指導」 生徒 76.5%、保護者 70.2%〔※17.5%〕 「進路指導の中で評価できる項目（複数回答）」 講習・勉強合宿 29.6%、各種ガイダンス 27.8%、模試指導 26.7%</p> <p>イ 国公立大学現役合格者 48名〔45名〕</p> <p>ウ 大学入試センター試験出願率 98.1%〔97.2%〕、5教科7科目受験 39.7%〔127名〔136名〕〕</p> <p>エ 長期休業期間中に 107 講座の補習・講習を実施</p> <p>オ 自主学習時間（学年+1 時間の確保）47.3%〔49.4%〕 1年平均 0h58m〔1h~ 52.1%、2h~ 18.7%〕、 2年平均 2h28m〔2h~ 69.0%、3h~ 44.1%〕、 3年平均 5h09m〔3h~ 85.8%、4h~ 79.1%〕</p>	<p>〔課題〕</p> <p>(1) 1・2年生の自主学習時間を増やすとともに、受験準備を早期に開始することにより、第一志望実現を支援する。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学習を促すため、キャリア教育に基づく学習指導、進学指導を行う。また、「進路の手引き」、「進路だより」の充実を図る。</p> <p>〔対応策〕</p> <p>(1) 3学期を、次年度の○学年0学期と位置付け、学年・進路指導部・各教科が連携して組織的な取組をスタートさせる。</p> <p>(2) 高大接続改革を視野に入れ、「進路の手引き」を全面的な改訂を行う。また、キャリアガイダンスや進路講演会、キャンパス訪問等進路指導の改善及び一層の充実を図る。</p>
<p>3 生活指導 【B】</p> <p>入学後直ぐに、SNSに関する外部講演会を実施した。昨年度より遅刻指導を継続的にを行い、全体として遅刻者数（各クラス1日平均）1.27人〔1.30人〕と、減少にある。</p> <p>「学校生活の中で規律を大切に、マナーを守っている」と自己評価している生徒は 93.3%〔91.7%〕であった。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 遅刻者数（各クラス1日平均） 1年 0.28人、2年 0.65人、3年 2.90人、全校 1.27人</p> <p>イ 学校評価の肯定的評価の割合 「生徒と向き合う適切な生活指導」 生徒 72.2%、保護者 83.2%〔※9.1%〕 「いじめ防止の組織的な取組」 生徒 78.0%、保護者 55.3%〔※37.6%〕 「防災教育を通じた自助・共助の育成」 生徒 70.5%、保護者 67.6%〔※24.2%〕</p>	<p>〔課題〕</p> <p>(1) 3年生の特に2学期以降の欠席・遅刻者数を減少させることが課題である。</p> <p>(2) 「いじめ防止の取組」や「体罰や暴言のない指導」等の取組に関して、保護者の評価でわからないと回答する割合が高い。</p> <p>〔対応策〕</p> <p>(1) 3年生の2学期以降の欠席・遅刻数を増やさない方策を検討・実践する。</p> <p>(2) いじめ防止対策の取組や体罰や暴言のない指導等について、取組内容や成果など、保護者の理解を深めるように周知を図る。</p>

<p>4 健康づくり等</p> <p>(1) 健全な心身を育む取組を行う。</p> <p>① スクールカウンセラーによる1年生全員面接を実施する。</p> <p>② スクールカウンセラー等を講師とした校内研修会や事例検討会を充実させる。</p> <p>③ 体力テストで自己の課題を把握させ、一人一人が自分の目標をもって取り組む指導を行う。</p> <p>(2) 校内美化・保健衛生に取り組む。</p> <p>① 「保健だより」を月に1回程度発行し、生徒に情報を発信する。</p> <p>② 月1回の大掃除などにより清掃を徹底し、全校あげて校内美化に取り組む。</p> <p>③ アレルギーをもつ生徒情報を共有するとともに、エピペンの使用方法に関する研修を4月中に実施する。</p>	<p>(1) 教育相談機能の充実を図る。</p> <p>① スクールカウンセラーとの連携を密にし、ケース会議を開催するなど情報を共有する。</p> <p>② 精神科医による学校相談活動を学期に1回以上実施する。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 学校評価アンケート（教育相談の整備、校内美化の取組）80%〔生徒71.4%、67.9%〕を目指す。</p> <p>イ 体力合計点の各学年の校内平均値を、全国平均値へと向上させる取組〔全国比±0p〕を行う。</p>	<p>4 健康づくり等 【B】</p> <p>専門医派遣事業による精神科医による学校相談活動を5回実施し、内4回はスクールカウンセラーと連携して行った。不登校傾向のある生徒（年間欠席60日間以上）は5名〔5名〕と昨年と同数だった。</p> <p>今年度はトイレの洋式化を女子トイレを優先に12箇所行ってきたが、学校評価の自由意見で、トイレの臭いや汚れ等に関する意見・要望が多かった。</p> <p>体力合計点が男子55.3p、女子54.8pで、昨年度とほぼ同様の結果だった。男子は都平均を上回り、女子は都・全国平均とも上回った。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 学校評価の肯定的評価の割合 「カウンセリングなど教育相談機能の整備」 生徒76.1%、保護者55.6%（※35.1%） 「生徒の校内美化への積極的な取組」 生徒75.4%、保護者48.3%（※30.2%）、外部93.4% 「清掃が行き届いていない場所（複数回答）」 更衣室62.2%、階段廊下32.5%、普通教室28.2%</p> <p>イ 体力合計点の全国平均比較+0.1、都平均比較+3.7</p>	<p>〔課題〕</p> <p>(1) 本校の施設の中で、清掃が行き届いていない場所として、生徒・教員の過半数が更衣室を挙げている。また、施設、特にトイレや冷暖房に関する要望が、自由意見に見られた。</p> <p>(2) 教育相談の取組について、保護者の評価でわからないと回答する割合が依然高い。</p> <p>〔対応策〕</p> <p>(1) 校内美化の取組について、清掃分担の見直し、整美活動を徹底する。また、トイレの洋式化など施設の改善については、改修工事を含め、教育委員会に継続して要望していく。</p> <p>(2) 各取組について、生徒だけでなく、保護者に対しても周知を行う。また、案内について丁寧に情報を発信する。</p>
<p>5 特別活動・部活動</p> <p>(1) 文武両道を推進し、特別活動・部活動を充実させ、生徒の帰属意識を高める。</p> <p>① 終祭、体育祭、修学旅行等の学校行事を通して、成就感や達成感を高める。</p> <p>② 地域、関係機関との連携を密にし、地域行事、ボランティア活動、奉仕活動へ参加させる。</p> <p>③ 部活動への加入（一人一部活動）を奨励し、部活動加入率を高め、部活動を活性化させる。</p> <p>④ 生徒会を中心にボランティア活動や地域等の社会貢献活動を継続させる。</p> <p>⑤ オリンピック・パラリンピックに関する教育をすべての教科に位置付けて行う。</p> <p>(2) 「理数研究校」として、理数に興味・関心をもつ生徒の裾野を拡げ、探究活動に取り組む。</p> <p>① 「科学の祭典」に参加し、その他各種科学コンテストへの出場を目指す。</p> <p>② 専門機関の講師による講義や実習を実施し、研究及び発表内容の充実を図る。</p>	<p>(1) 特別活動や部活動を通じて、個性豊かな人間性を育む。</p> <p>① 生徒の実行委員会を中心に、主体的に学校行事に取り組みさせる指導を行う。</p> <p>② 生徒会活動・委員会活動を充実させ、自主的・自立的な活動を支援する。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 学校評価アンケート（学校行事の取組・部活動満足度）80%以上〔生徒90.9%、80.5%〕を継続させる。</p> <p>イ 部活動加入率90%以上〔97.4%〕を維持する。</p>	<p>5 特別活動・部活動 【A】</p> <p>学校行事に関する学校評価は、積極的な参加（自己評価）及び人間性の育成への寄与ともに高かった。</p> <p>部活動加入率、部活動満足度は、目標水準に到達している。生徒会を中心に継続して行っている学習支援ボランティアを板橋四小の他、板橋五中でも始めた。</p> <p>地域ボランティアや森林保全活動等を通じてボランティアマインドの、海外の姉妹校等との直接交流活動を通じて豊かな国際感覚の醸成を図った。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 学校評価の肯定的評価の割合 「生徒の学校行事への積極的な参加」 生徒89.4%、保護者88.5%（※1.8%） 「学校行事による個性豊かな人間性の育成」 生徒88.2%、保護者83.0%（※5.4%） 「学校行事の中で評価できる項目（複数回答）」 終祭84.6%、体育祭62.5%、クラスマッチ46.1% 「部活動満足度」 生徒83.9%、保護者76.2%（※6.4%） 「部活動で評価できる項目（複数回答）」 種類の数49.0%、評価できるものがない20.3%</p> <p>イ 部活動加入率96%〔97.4%〕</p>	<p>〔課題〕</p> <p>(1) 学校行事の充実と精選。</p> <p>(2) 部活動の充実と活性化。</p> <p>(3) 生徒会・委員会活動の活性化。</p> <p>〔対応策〕</p> <p>(1) 学校行事の課題を分析し、行事の精選を含め改善を図る。また、平成31年度より体育祭の開催時期を、天候の不安解消と高大接続改革に対応するため、現在の9月実施から天候の比較的安定している6月へと変更する。</p> <p>(2) 部活動の加入率を高めるとともに、一層の活性化と活動するための支援の充実を図る。</p> <p>(3) 生徒会・委員会活動の自主的・自律的な活動を支援し、生徒会役員等と協力して活性化を推進する。</p>
<p>6 募集・広報活動</p> <p>(1) 本校を第一志望とする生徒を獲得する。</p> <p>① ホームページを刷新し、適時適切な情報発信に努める。</p> <p>② 学校説明会や学校見学会、公開授業などの機会に、生徒会と協力し、学校の特色や魅力を伝えていく。</p> <p>③ 部活動の見学・体験入部、中学校との合同練習などに積極的に取り組む。</p>	<p>(1) 広報活動を改善し、適時適切な情報発信を行う。</p> <p>① 学校説明会（年3回）、学校見学会（夏季休業中及び随時）、公開授業（年3回以上）の他、中学生部活動体験を実施する。</p> <p>② ホームページ全面的に刷新する。また、年間180回以上〔141回〕更新を行う。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 学校評価アンケート（ホームページによる適切な情報発信）70%〔生徒57.0%〕を目指す。</p> <p>イ 来校者アンケート（参加満足度）80%を目指す。</p>	<p>6 募集・広報活動 【A】</p> <p>平成29年11月から始めた「北園日記」により、日々の教育活動を直ぐに発信している。情報発信に関する生徒・保護者の肯定的評価も大幅に増加した。また、ホームページの年間更新回数225回〔162回〕と増加した。</p> <p>学校見学会・学校説明会参加者4756人〔5088人〕、授業公開参観者1166人〔1259人〕。</p> <p>来校者アンケートの見直しを図り、見学会・説明会参加者に学校評価、授業公開参加者に授業評価を実施した。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 学校評価の肯定的評価の割合 「ホームページなどによる適切な情報発信」 生徒79.7%、保護者74.3%（※13.9%）、外部85.3%</p> <p>イ 来校者アンケートの肯定的評価の割合 「学校説明会・学校見学会に参加して満足している」 98.6% 「説明会の中で有用あるいは印象的な情報（複数回答）」 生徒の話56.8%、教育課程38.4%、国際理解教育35.9%</p>	<p>〔課題〕</p> <p>(1) ホームページなどによる適時適切な情報発信。</p> <p>(2) 学校見学会・学校説明会の実施時期の検討と内容の充実。</p> <p>〔対応策〕</p> <p>(1) ホームページを一層充実させ、生徒・保護者及び受験生等に必要な情報を積極的に発信する。</p> <p>(2) 中学校の学校行事を考慮して、実施時期を検討する。また、実施時期に合わせ、適切な内容を発信していく。</p>

<p>7 特色ある教育活動</p> <p>(1) 国際交流リーディング校（仮称）認定を目指すとともに、国際理解教育を推進し、世界で活躍できる人材を育成する。</p> <p>① スミスヒルハイスクールとの姉妹校連携（海外語学研修）を充実させる。</p> <p>② ドイツ姉妹校のテレッタ・グロス・ギムナジウムの生徒を受け入れる。</p> <p>③ ドイツへの短期留学生徒派遣事業、PASC Hキャンプへ派遣する。</p> <p>④ 東京国際フランス学園「リセ」との交流活動を行う。</p> <p>⑤ ロシア日本語履修高校生招聘と生徒の派遣等を行う。</p> <p>(2) 「信州北園プロジェクト」によるキャリア教育・環境教育を充実させる。</p> <p>① 新入生セミナー合宿（1年4月）により、高校生の基盤作りを行う。</p> <p>② 森林保全合宿（2年5月）により、タフな人間力を育成する。</p> <p>③ 1年勉強合宿・2年集中講習（希望者7月）により、高い学力を育てる。</p>	<p>(1) 相互交流を主体とした国際理解教育を推進する。</p> <p>① 豪・スミスヒルハイスクールでの海外語学研修を実施する（8月）。</p> <p>② PASC Hのパートナー校としての国際交流を充実させる。</p> <p>③ 語学検定の合格、全国スピーチコンテストの参加を目指す。</p> <p>④ 国際交流リーディング校（仮称）認定を目指し、一層の連携強化を図る。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 学校評価アンケート（国際理解教育の充実度、「信州北園プロジェクト」による人間力育成）80%〔生徒85.2%、73.0%〕を達成する。</p>
<p>8 学校経営・組織体制</p> <p>(1) 進学指導推進校として組織的な学校運営を推進する。</p> <p>① 企画調整会議と各分掌、経営企画室との連携を密にし、ボトムアップ機能を充実させる。また、経営企画室職員は、年3回分掌会議へ参加し、学校の課題を共有する。</p> <p>② 教科会を充実させるとともに、教科主任会を適宜実施し、教科を横断した学習指導に関する情報交換や連携を促進する。</p> <p>(2) 服務事故の未然防止に努める。</p> <p>① 年3回の服務事故防止研修等により個人情報の管理や体罰等の防止対策を徹底する。</p> <p>(3) 働き方改革を推進する。</p> <p>① 在校時間を適切に把握し、教員の意識改革を図る。</p>	<p>(1) PDCA（計画、実施、評価、改善）のマネジメントサイクルの機能を高める。</p> <p>① 学校評価、生徒による授業評価、来校者アンケート等を活用し、学校経営計画の目標を適切に評価し、改善に生かしていく。</p> <p>(2) 週当たりの在校時間が60時間を超える教員を0にする。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 学校運営連絡協議会の協議委員の「学校が良くなった」評価100%〔90.0%〕を目指す。</p> <p>イ 学校評価アンケート（体罰や暴言のない指導の実践）90%〔生徒87.7%〕を目指す。</p>

<p>7 特色ある教育活動 【A】</p> <p>豪・海外語学研修45名参加、豪スミスヒル・ハイスクール生徒10名受入、独テレッタ・グロス・ギムナジウム生徒15名受入、PASC H事業参加、北方四島青少年受入は都外実施のため受入なし〔52名〕、ロシア日本語履修高校生招聘45名・派遣3名など、充実した交流活動を行った。また、今年、新たに豪ウヌーナ・ハイスクールと姉妹校協定締結、中国北京市内の高校との連携を検討中。</p> <p>全国スピーチコンテストの参加（会話部門準優勝、朗読部門準優勝）の成果があった。また、独語検定A1=2名（19名受験）、A2=2名（2名受験）合格、検定実施時期変更に伴う指導体制構築が課題である。</p> <p>森林保全合宿では、従来の整備・植林等の他に調査活動を加えて実施した。</p> <p>勉強合宿参加人数は1年79名〔82名〕、2年は学校での特別講習に変更し、61名〔32名〕が参加した。参加者アンケートや学校評価でも一定の評価が得られた。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 学校評価の肯定的評価の割合 「国際理解教育の充実度」 生徒89.1%、保護者87.2%（※8.2%） 「信州北園プロジェクトによる人間力育成」 生徒81.4%、保護者82.1%（※11.7%）</p>	<p>【課題】</p> <p>(1) フランス語、中国語受講生徒にも相互交流の機会を拡張する。</p> <p>(2) 1年生も勉強合宿の充実。</p> <p>(3) 2年生の夏期特別講習の充実。</p> <p>【対応策】</p> <p>(1) フランス語では、「リセ」との交流機会の拡大を検討する。また、中国語では、交流校の開拓を進める。</p> <p>(2) 勉強合宿の長野県富士見 八ヶ岳荘に変更し、往復の時間短縮を図る。</p> <p>(3) 今年度の実施結果を検証し、改善を図るとともに、内容を充実させ、参加を促していく。</p>
<p>8 学校経営・組織体制 【A】</p> <p>PDCAのマネジメント機能を高めるために、昨年度より学校評価を全面的に変更し、今年度は経年変化を見ることができた。また、来校者アンケートの見直しを図り、見学会・説明会参加者に学校評価、授業公開参加者に授業評価を実施した。</p> <p>学校経営計画の教育活動の目標を多面的に評価し、学校経営の一層の改善を推進していく。</p> <p>経営企画室と教員が連携して、学校運営に取り組んだ。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 学校運営連絡協議会の協議委員の「学校が良くなった」という評価100%（※0%）</p> <p>イ 学校評価の肯定的評価の割合 「体罰や暴言のない指導の実践」 生徒91.8%、保護者83.7%（※12.9%）</p>	<p>【課題】</p> <p>(1) 服務事故の未然防止等に対する取組を徹底する。定期考査の解答用紙の取扱等についても改善し、周知を図る。</p> <p>(2) 国や都の取組の成果について、保護者・教員ともにほとんど評価されていない。働き方改革について一層推進する。</p> <p>【対応策】</p> <p>(1) 校内研修を形骸化させず、当事者意識をもって参加するよう工夫し、服務事故防止対策を徹底する。また、各業務の複数担当制により、個人情報の紛失などの事故を未然に防止する。</p> <p>(2) 看護休暇・短期介護休暇等の利用の推奨や業務の縮減など、働き方改革を推進する。また、各種会議の時間短縮を心掛け、教職員の在校時間の縮減を図る。</p>

〔評語の説明〕

A 設定した目標を高度に達成

C 設定した目標を達成するには、もう一歩

B 設定した目標を概ね達成

D 設定した目標はほとんど未達成

※ 参考資料(過去4年間からの推移)

1 学校見学会・学校説明会参加人数の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学校見学会(2回)	2424	2667	2896	2839	2753
学校説明会(3回)	1923	2101	2271	2249	2003

単位:人

2 第二外国語履修者数の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ドイツ語	207	233	251	245	175
フランス語	97	87	74	68	75
ロシア語	28	33	32	20	18
中国語	65	42	50	60	78

単位:人

3 センター試験出願率の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
センター試験出願率	96.8	94.6	97.4	97.2	98.1
内 5教科7科目型	—	—	23.9	44.3	39.7

—:統計なし

単位:%

4 現役合格者数(国公立大学、早慶上智理科大学、GMARCH別)の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
国公立大学	33	37	37	45	48
早慶上理大学	46	27	32	41	37
GMARCH大学	142	146	179	144	173
合計	221	210	248	229	258

単位:人